

柔道整復科

骨折実技（上肢1）

| 対象 | 2年次 | 開講期 | 後期 | 区分 | 必 | 種別 | 実技 | 時間数 | 30 | 単位 | 1 | |
|------|------|-----|----|------|---|----|--------------------|-----|----|----|---|--|
| 担当教員 | 後藤晃弘 | | | 実務経験 | 有 | 職種 | 柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり) | | | | | |

授業概要

部位別に具体的な外傷の整復・固定・後療法等や治療に至るまでの注意事項を学びます。

到達目標

柔道整復施術の観点から上肢の骨折に対して、部位別に具体的な外傷の発生機序、症状（一般外傷症状・固有症状）、病態や整復・固定・後療法などの施術の判断や方法に至るまでの注意事項を学び活用することを到達目標とする。

授業方法

上肢の骨折を模型や画像を用いて授業を行うと同時に、骨折の発生機序、症状、骨片転位、整復、固定、後療法、全体のプログラム、指導管理、予後を臨床現場から考え、注意事項を踏まえて教授する。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

実技的要素が高く卒業後は患者の体を扱うため、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視するとともに授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。

教科書教材

教科書（柔道整復理論-社団法人全国柔道整復学校協会監修-）に準拠する。

| 回数 | 授業計画 |
|-----|-------------------|
| 第1回 | 上腕骨外顆骨折、上腕骨内側上顆骨折 |
| 第2回 | 橈骨近位骨折 |
| 第3回 | 肘頭骨折 |

柔道整復科

骨折実技（上肢1）

| | |
|------|-----------------------|
| 第4回 | 前腕骨骨幹部骨折 |
| 第5回 | モンテギア骨折 |
| 第6回 | ガレアジ骨折 |
| 第7回 | 前腕両骨骨折 |
| 第8回 | 1回から7回の振り返り |
| 第9回 | 前腕両骨骨折 |
| 第10回 | コーレス骨折 |
| 第11回 | コーレス骨折（実技①） |
| 第12回 | コーレス骨折（実技②） |
| 第13回 | スミス骨折、バートン骨折、ショウファー骨折 |
| 第14回 | 9回から13回の振り返り |
| 第15回 | 半期の総括 |